

岡山市公共交通網形成協議会 第4回幹事会 議事要旨

日時：令和元年7月29日（月）15:00～

場所：勤労者福祉センター5階会議室

＜議事：ネットワーク再編について＞

組織名	質問・意見
岡山電気軌道 株式会社	<ul style="list-style-type: none"> 再編実施計画については、案自体の見直しが必要だが、交通網形成計画で全体像を議論した上で進めていくべきと思う。ただ、再編する方面を対象に、例えば他の事業者が直通バスを導入しようと思ったら可能であるため、そういった現状と課題の整理をまずはお願いしたい。
両備ホールディングス 株式会社	<ul style="list-style-type: none"> 個別の議論に時間を割いていくと、ネットワーク全体の議論が出来ない。この協議会の目的にもあるように、過剰な競争を抑えて、ネットワークの再編と運賃の最適化を図り、ネットワーク全体を考えた交通網形成の議論をすべき。 今回の再編案を先行すべきではない。全体のことをせずに事業者の利益になることを優先させると、利用者の納得は得にくいのではないかと。また、この再編案を実施しても車両台数や運転手の人数は変わらないので経費削減は運行三費程度に止まる。 乗合事業は、わが社含めて、ほとんど赤字であり、今の低運賃で過当競争が続くと、今まで我慢してきたところが維持できなくなることが懸念される。
備北バス 株式会社	<ul style="list-style-type: none"> 網形成計画はまちづくりと並行して検討してもらいたい。全事業者で運賃の適正化や路線の再編をやるにしても、まちづくりとしてどこを拠点とするのかということとリンクさせながら検討する必要がある。
下津井電鉄 株式会社	<ul style="list-style-type: none"> 今回の案は、あくまで1つの案として市からご提案してもらっていると理解している。再編する中で、人件費はそのまま削減につながらないことと、乗り継ぎが発生することで運転時間が逆に増える可能性もあるため、その点については、事業者と相談しながら進めてもらいたい。
岡山県交通運輸産業労働組合協議会	<ul style="list-style-type: none"> 経営の安定化と乗務員不足への対応として、運賃の適正化について検討してほしい。 渋滞対策としてバスレーンの拡充、優先信号システム等の施策が必要である。 網形成計画を検討している間にも、新たな低運賃の路線が出来ている状況があり、事業者と相談しながら進めていくことが必要である。
岡山商工会議所	<ul style="list-style-type: none"> 今の2方面の再編案は、局地的であり、担当するバス会社が納得できるのかどうか気がなっている。市民の立場としては、全体像があって局地的な話をしてもらわないと意見が出しにくい。
岡山市	<ul style="list-style-type: none"> これまでの議論の中で事業者の経営、利用者の利便性の向上の観点から持続可能な公共交通を考えていくという共通認識を持った。次は、それを実行していく必要があるため、今回の路線再編案についても、網形成計画にしっかりとしたものを位置付けていきたい。 再編実施計画では、その実現に支障が出るものに対しては一定の歯止めがかけられるため、協議会の中でしっかりと共通認識を持って進めていく必要があると考えている。 国では、再編実施計画の策定にあたって、運賃についても具体的にどう設定するのか、プール制にしていくのか、これらは独禁法に関わるので、この壁をクリアしていかなければならないと考えている。国でも法改正の方向が打ち出されていくものだと思う。 ただし、これは時間のかかるものであるため、今後の動きを注視しながら、できることをしっかりと網計画に位置付けて、適切な再編についてできることを確実に進めていくことが必要だと考えている。

【今後の進め方】

- ・次回は協議会で、路線再編の全体像及び各方面の路線再編案について協議する